

まほろば秦野通信

平成29年5月9日
秦野市市長公室広報課

タイトル	女王たちの住処づくりを目指して 元公務員らが山女魚（ヤマメ）の稚魚を放流
When (いつ)	5月14日（日曜日） 午前10時～10時半
Where (どこで)	葛葉川上流（葛葉の泉広場付近） 菩提2317-15
Who (だれが)	景釣会（秦野市職員の同好会、佐藤 尚文 会長）OB10人 景釣会 1人 社会福祉法人かしの木会「くず葉学園」の園生・職員約10人
What (なにを)	見た目の美しさと味の良さから溪流の女王と呼ばれる山女魚（ヤマメ）。清らかな水のある環境でしか生きられず、釣り人口の増加などで、市内でも減少していたことから、山女魚の住める川づくりを目指し、市職員とOBのサークル「景釣会」が例年稚魚を放流しています。
How (どのように)	今年も稚魚（5～6センチ）約300匹を、葛葉川・金目川に放流します。放流の際、自然の生態系を考慮し、中流域に放流することになっています。
Why (なぜ)	また、葛葉川への放流は、身近な自然の素晴らしさを知ってもらうため、放流場所に近い「くずは学園」の園生・職員と協力して行います。 例年の活動の結果、最近では25cmを超える山女魚を見かけたとの情報が聞かれるようになりました。 ※葛葉川に放流するのは300匹のうち150匹。残りは市内の他の河川に放流。
How much (予算)	景釣会会員から集めた会費で、山北町にある養魚所から購入
過去の実績	今年で31回目。過去に、秦野市内の酒匂川水系支流にも放流
今後の取り組み	景釣会OBや地元の自治会の協力のもと続けていきたい
問い合わせ	上下水道局 水道施設課 佐藤 電話 0463 (83) 2113